

## 栗源地区の意見概要

### 自然環境について

- 地域のボランティア活動で地区の環境が維持されている。
- アメリカナマズなど外来魚が繁殖しているのを実感する。利根川水系で外来魚が繁殖しており問題である。
- サギなどの営巣によるふん、カラスやハクビシンによる被害などが増えており、対策が必要である。
- 有害鳥獣対策が課題である。
- 道路にはみ出した樹木の枝が多く、地主による山林の管理が行き届いていないと感じる。そういったところへ市や県から地主に対して通知する等対策をしてほしい。
- 山林、田の手入れについては地主が責任をもって行うべきであり、住民の意識を変えていく必要がある。
- 排水路整備が課題である。
- 自然環境の保全が課題である。
- 傍目にはよい立地でさえも、休耕地が増加している。
- 農振法が邪魔になっている場合もあるのではないかな。

### 川の浄化、水循環について

- 支川栗山川の上流部分が白濁しているのは、畜産業者からの排水のためではないか。改善してほしい。
- 河川水質の悪化、水草の種類の変化を実感している。
- 家庭排水の処理を浸透式で行っている場合に、健康被害があるのではないかと感じている。
- 小河川の水質が改善されていないと感じる。

### ごみについて

- ごみの分別を徹底するように周知が必要である。
- まちづくり協議会でポイ捨て禁止の看板を立てている。
- ポイ捨ては監視カメラの設置後、改善された。
- ポイ捨てが増加しているのは山林や田の管理ができていないのも要因ではないか。
- 伊地山クリーンセンターでの熱利用について、温水利用は新施設で検討できるのか？
- ごみステーションの設置箇所は、ポイ捨てなどを防止するために工夫している。班長によるごみステーションでの見張り（月1回）を実施している。
- ごみの分別等に関する回覧物には「保存版」と入れるなど、すぐに捨ててしまわないよう分かりやすくした方がよい。

### その他

- 地区で長い期間にわたり熱心に活動をしている人を表彰、市の広報などで発表するなどしてもらいたい。
- 10年間で環境は大きく変わると感じている。
- 環境に関するボランティアの機会を増やす必要がある。
- 地区の小学校のリサイクルに協力している。
- ボランティアの担い手が減少している。若い人の加入者を増やすのは難しい。
- まちづくり協議会と市が連携する必要がある。